

研 修 科 目	D X 推 進 に 向 け た 基 礎 知 識 研 修（公務員基本研修）
研 修 の 目 的	デジタル技術を活用して、業務プロセスを改善していくための意識を醸成するとともに、自治体職員として身につけておくべきデジタル技術の基礎知識を正しく理解し、習得することで、各業務、各職場においてD Xを積極的に推進する職員を育成する。
研 修 の 到 達 点	・ 社会や組織のデジタル化を不安なく自分事と捉えることができるようになる。 ・ 職場でのデジタル化への取組を前向きに捉えることができるようになり、デジタル活用の企画やアイデア出しに参画できるようになる。 ・ I T パスポート等のデジタルに係る資格取得を勧奨する。
受 講 対 象 者	指名で受講させる2年目職員と希望職員
受 講 予 定 人 数	約390名
研 修 日 数 ・ 時 間 研 修 回 数	1回240分（同内容を4回実施）
研修実施予定時期	令和7年1月20日～23日（4日間）
研 修 方 法	講義、演習
研 修 内 容	1 デジタルに対する正しい理解とD Xの意識の醸成 ○デジタル社会の進展と情勢について理解する。 ○自治体を取り巻くD Xの状況を理解する。 ○D Xの実践による職場や業務への効果を理解する。 ※ディスカッションやグループワーク等を用いて、受講者の経験等を共有化するなど、D X推進が全職場において必要であることを認識しやすくするための工夫をすること。 2 デジタルリテラシーの習得 ○社会で活用されているデジタル技術に関する知識を知る。 ○働く場の環境に応じたデジタル技術を活用する方法を知る。 3 デジタルリテラシーの強化 ○情報処理の国家資格である「I T パスポート」取得レベルの基礎的な知識について、D X推進に関連が深い内容を中心に学ぶ（試験の過去問などを用いて演習）。 ※試験科目に触れ、デジタル技術の基礎知識や活用方法を学ぶことの重要性を理解することで、受講者自らが意欲的にデジタルリテラシー習得のため、「I T パスポート」の取得を目指したいと思える内容とすること。
上 限 金 額	1,800,000円